

バイオマス由来糖を用いたラビリンチュラによる油脂変換技術

マッチングの要望

希望マッチング先

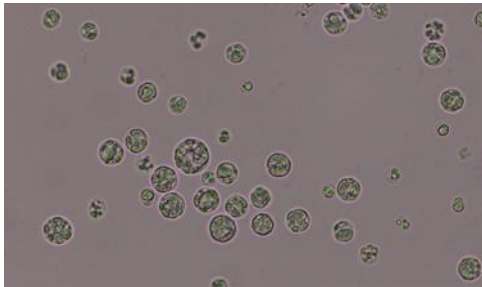
- ①水産飼料メーカー
- ②印刷インキメーカー
- ③焼酎・地ビール醸造メーカー、菌床取扱い事業者等

マッチングメリット

- ①油脂配合水産飼料の共同開発や、水産資源に頼らない油脂の比較的安価で安定的な供給源の確保が可能
- ②バイオファーストインキの共同開発や、エコな油脂を市場へ供給が可能
- ③廃棄物系バイオマス（廃棄原料）の利活用・製品化、廃棄物量の低減が可能。

開発したのはこんな技術です

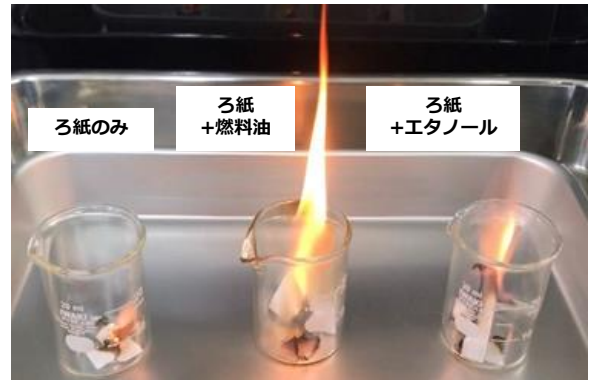
- 本技術は、海洋性微生物である油糧微生物ラビリンチュラを用いて廃棄物系バイオマスを
①燃料油・高度不飽和脂肪酸（DHA, EPA）
②付加価値製品（水産用飼料、インキ原料、食品）
へ変換する技術である。
- また、当社は油糧微生物ラビリンチュラの**対糖油脂収率が最大となる培養方法**を確立。
- この培養方法に基づき、バイオマス由来の糖（※1）、及び地域産業である焼酎製造の際に発生する焼酎粕中の**窒素・ミネラル源を用いて**、油糧微生物ラビリンチュラを培養する。
（※1）紙ごみや食品残渣等のセルロース系バイオマスに含まれる糖を炭素源とする。



油糧微生物ラビリンチュラ

★ おすすめのポイント

- 廃棄物系バイオマス由来の糖を使用するため**環境に対する負荷が低く**、食糧と競合しない
- 海洋性の微生物のため塩濃度が高い状態で培養が可能
⇒ **コンタミネーション（※2）に強い**
⇒ **油脂の安定的な供給源となり得る**
- 廃棄物系バイオマスから、バイオ燃料の素となる油脂や付加価値製品の素となる**高度不飽和脂肪酸（DHA,EPA）を含有する菌体**の製造が可能
（※2）培養の際に雑菌が混入すること



ラビリンチュラ由来燃料油燃焼の様子

🔧 この技術を開発したのは…

企業名 株式会社Biomaterial in Tokyo

所在地 本社：東京都品川区
研究所：福岡県大野城市

資本金 75百万円

設立 2006年6月

従業員数 11名

お問い合わせボタン

<https://www.yano.co.jp/contact/contact.php/consulting>